

教科書の読みに困っている子どもたちを取り残さない！

デージー教科書で広がる学びの保障

「日本語に通じない児童生徒」への デージー教科書の利用促進の取り組みについて シンポジウム（事業報告会）

「デージー教科書」とは、教科書を読むのが苦手な子どもたちのために作られた、デジタル支援ツールです。音声で聞けたり、文字を大きくしたり、色を変えたりなど、様々な機能で、学習効果の向上が期待されています。

2024年6月の教科書バリアフリー法の改正により、特に障害が無い日本語を母語としない子供たちも、「デージー教科書」が使えるようになりました。これを受けてATDOで行った周知活動をご報告しつつ、この活動でわかったこと、デージー教科書をより多くの方々に知ってもらい利用してもらうための課題について、皆様とともに意見交換をするシンポジウムを開催します。

【シンポジウム概要】

- ◆ **日時：**2025年3月19日（水）15時00分～17時00分
- ◆ **会場：**戸山サンライズ・大研修室
東京都新宿区戸山1-22-1
（東西線早稲田駅下車 または 大江戸線若松河田駅下車
徒歩約10分）
- ◆ **主催：**特定非営利活動法人 支援技術開発機構（ATDO）
- ◆ **対象者：**教員の方、特別支援教育や日本語教育に関わる方、教員を目指す学生の方、支援者、当事者およびその保護者、ご興味のある一般の方
- ◆ **定員：**100名
- ◆ **参加費：**無料
- ◆ **申込：**右シンポジウムホームページ内のGoogleフォーム
[<https://forms.gle/FNhr3mUzYbtxyejY7>]からお申し込みください。
- ◆ **締切：**2025年3月17日（月）
但し、定員に達した場合はそれより前に締め切ります。

【お問い合わせ】 e-mail: info@atdo.jp

なお、同日14時00分～14時50分に同会場にて

【デージー図書読書体験会】を開催いたします。シンポジウムへのご参加有無は問いません。デージー図書にご興味のある方は、右のイベントホームページをご覧くださいの上、お申込をお願いします。

シンポジウム URL:

<https://www.atdo.jp/1653>



デージー図書体験会 URL:

<https://www.atdo.jp/1654>



本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）の共通目的基金の助成を受けて実施しています。

共通目的基金・助成事業
SARTRAS



シンポジウムプログラム
「日本語に通じない児童生徒」への
デージー教科書の利用促進の取り組みについて
教科書の読みに困っている子どもたちを取り残さない！
デージー教科書で広がる学びの保障

日時：2025年3月19日（水）午後3時00分—5時00分

会場：戸山サンライズ・大研修室

プログラム：

3:00-3:05 開会

3:05-3:30 事業報告

3:30-4:15 パネルディスカッション「日本語に通じない児童生徒」へのデージー教科書の利用促進のための今後の取り組みについて

パネリスト：

小澤 亘（立命館大学 名誉教授）

濱田 滋子（NPO 法人 NaD 理事長）

板橋 友紀子（世田谷マルチメディア DAISY の会 代表）

吉広 賢史（（公財）日本障害者リハビリテーション協会 情報センター 副センター長）

村上 自子（NPO 法人 おおさかこども多文化センター 副理事長）

文部科学省 初等中等教育局 教科書課（登壇者未定）

モデレーター：

河村 宏（NPO 法人 支援技術開発機構 副理事長）

4:15-4:55 意見交換会（会場参加者からの意見も含む）

4:55-5:00 閉会

マルチメディアデージー教科書は、多様な子どもたちの学びを保障するためにボランティアにより組織的・継続的に製作されており、現時点で最も入手しやすいツールのひとつです。ご興味のある方は是非ご参加ください